あぜ道
稲作技術情報
Ｎｏ．３６２（令和５年 No. ９）
令和５年８月２１日
▼発　行▼
山本地域振興局農林部農業振興普及課

連日の高温により刈り取り早まる予測！

刈り取りに向けた準備を早期に行いましょう！

１　気象経過と生育状況

【気象経過】

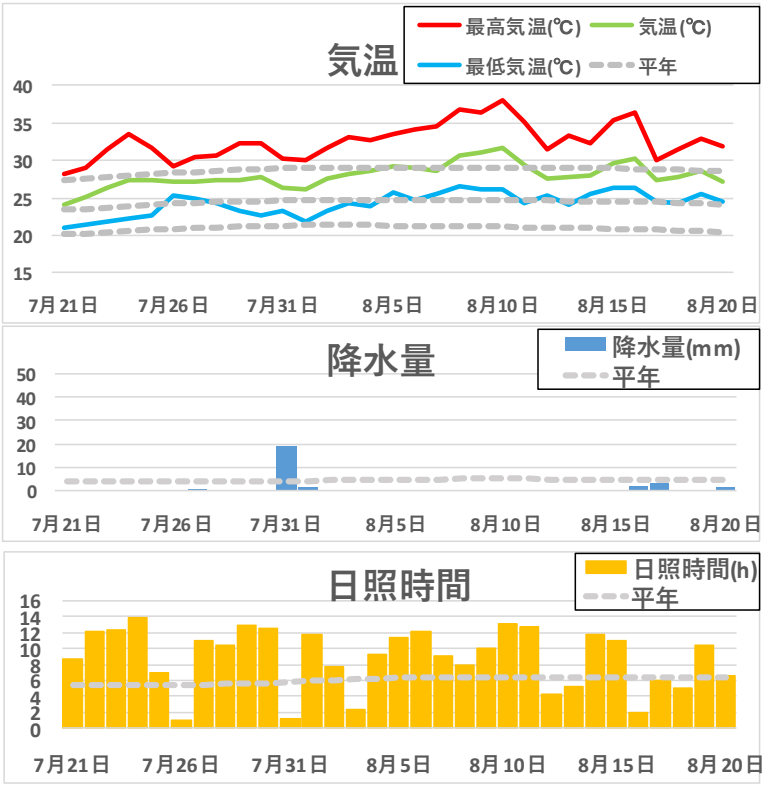
気温が７月31日以降、平年よりもかなり高くなっており、これまでにない登熟期の異常高温で経過しています。

降水量は、７月31日に強い雨がありましたが、８月の降水量は平年よりもかなり少なくなっています。

日照時間が平年よりも長い日が多くなっています。

仙台管区気象台の１ヶ月予報では、向こう１ヶ月の気温は高く、降水量は平年並からやや多い、日照時間はやや少ないから平年並と見込まれています。

これまでの気象経過（アメダスポイント：能代）



【生育状況】

８月21日現在の管内水稲定点調査ほ（９地点、品種：あきたこまち）の生育は、**穂数が平年より少なく、１穂着粒数が平年並、㎡当たり着粒数が平年より少なく**なっています。

○定点調査結果（８月21日）

	穂数（本/㎡）	葉数（葉）	着粒数（粒/穂）	着粒数（粒/㎡）	出穂期（月/日）
本年	418	12.7	76.6	31,736	**７／30**
平年	445	12.9	76.6	33,736	８／２
前年	380	13.2	89.2	33,803	８／２
平年比較	**94%**	**-0.2**	**100%**	**94%**	**－３日**
前年比較	110%	-0.5	86%	94%	－３日

※平年は過去10カ年の平均値

本年は茎数が不足傾向で推移したため、穂数が平年よりも少なくなりました。１穂着粒数は平年並となったものの、穂数が少なかったため、㎡あたり着粒数は少なくなりました。

なお、定点調査ほの出穂期は平年より３日早い７月30日で、管内の出穂期も同日でした。気温の高い日が続いたことから生育が早まり、出穂が早まったと見られます。

出穂が早かったほ場では籾の黄化が進んでおり、本年は高温で経過していることから、刈り取り時期が早まると予想されるため刈り遅れによる品質低下を招かないように早期に収穫体制を整えましょう。

２　主要病害虫の防除対策

【斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ）】

〇本年も斑点米カメムシ類の発生量は多くなっており、病害虫防除所から７月28日に防除対策情報が発表されました。
斑点米カメムシ類は登熟期前半に玄米の頂部を加害し、登熟期後半は割れ籾の増加に伴い、側部を加害します。そのため、今後は２回目の防除が重要となります。
出穂期24日後頃に、畦畔を含めたほ場全体にエクシード剤またはキラップ剤を必ず散布してください。

〇近隣に水稲以外の作物（野菜等）がある場合や養蜂業者がいる場合は、薬剤散布前に情報交換を密にし、散布作業を実施してください。

〇畦畔・雑草地等の除草は、水稲の収穫２週間前以降に行ってください。

３　登熟の向上を図る水管理

〇登熟の向上を図るため、出穂30日後までは間断かん水を実施し、土壌水分を保持しながら稲体の活力を維持することが重要です。

〇最高気温が30℃以上になる日は、用水を確保できる地域ではかけ流しかん水を行い、地温を下げて根の機能減退を防止します。

〇フェーン現象等で乾燥した風が強く吹く日は、湛水状態を保つことで、蒸散による稲体の消耗を軽減します。

〇早期に落水すると、根の機能が低下し登熟が妨げられ、収量、品質、食味が低下する場合があります。落水時期は、出穂30日後頃を目安としますが、登熟の進行やほ場の作業性等を考慮してください。

★カドミウム含有米の発生が懸念される地域では、出穂３週間後まで湛水管理を厳守し、カドミウムの吸収を抑制してください。

４　刈取適期の判断

刈取適期は品種や栽培方法によって異なります。本年は高温により登熟速度が早まっているため、積算気温を参考に、各ほ場の籾の黄化程度を必ず確認し、刈り遅れによる品質低下を防止しましょう。

ほ場の観察と並行して、収穫機や乾燥機のメンテナンスも早期に行い、スムーズに収穫作業に入れるようにしましょう。

出穂期	積算気温到達日				
	950℃	1000℃	1050℃	1100℃	1150℃
7月25日	8月30日	9月1日	9月3日	9月5日	9月7日
7月30日	9月5日	9月7日	9月9日	9月11日	9月14日
7月31日	9月6日	9月8日	9月10日	9月13日	9月15日
8月1日	9月7日	9月9日	9月12日	9月14日	9月16日
8月3日	9月9日	9月12日	9月14日	9月17日	9月19日
8月6日	9月14日	9月16日	9月19日	9月21日	9月24日
8月10日	9月20日	9月22日	9月25日	9月28日	10月1日

※８月20日以降のデータは平年値を使用。※管内の出穂盛期は７月30日。

【刈取適期の判定基準】

①籾の熟色
葉や穂首が緑色であっても籾の黄化程度が90%（黄色＋黄白色の籾数の割合）の頃
※熟度の進展は緑（青）色→黄色→黄白色と進む

②出穂後の積算気温（出穂期翌日から日平均気温を積算した値。上表参考）
早　生　種：　950～1,050℃（1,100℃を超えると胴割粒増加）
中晩生種：1,050～1,150℃（1,200℃を超えると胴割粒増加）

不明な点がありましたら、山本地域振興局農林部農業振興普及課（TEL52-1241）までご連絡ください。